

# 図書館に話ができる室を

## 答 実現させたい気持ちです



松本 利秋議員

議員 日野町図書館は、内容の充実と職員の努力により、県下でも誇れる図書館です。

館内で、お話をするとこのように、以前にも館南側外スペースを改修し、その



図書館外スペースに室を

部の有効利用に  
外の有効利用に  
ついては、ずつ  
と検討しており  
ます。

## 情報発信と宣伝を

議員 町のホームページの改善やパンフレット等について、再三指摘しました。

先般、県外から金持神社に参拝にいられた方とお話をしましたところ、ラジオやテレビの報道で日野町を知ったと答えられました。メディア宣伝の大切さを知りました。その取り組みは。

町長 マスコミの情報というものは、全国津々浦々、全



情報発信などで金持神社に年間20万人の観光客が集う

国版で流されると大きな反響があります。町としても情報公開して、マスコミの方に情報を載せて頂くようお願いし、私自身も力を入れていくところです。

議員 現在本町では、15飲食店が参加してスタンプラリーが行われていますが、スマホでは見ることができません。お茶屋、カフェ店も含めて検討をされては。

課長 情報提供が届くよう検討したいと思えます。

# 地域活動支援事業 について

## 答 企画政策課にご相談ください



中原 信男議員



高尾自治会地域活動

議員 地域活動支援事業の申請から交付決定まで、時間がかかり過ぎると言う声を聞きます、もう少し早くできませんか。

課長 交付決定に時間がかかり過ぎるとのご指摘でございます。今後できる限り迅速な事務処理に努めたいと考えています。

議員 この事業をやりたくても、高齢化が原因で申請の申請ができません。そういった地域の支援が出来ませんか。

## 目的基金の創設を

議員 財政調整基金の一部を目的基金にする考えはありませんか。公共下水道、農業集落排水事業及び簡易水道整備事業の基金（仮称）です。

町長 目的基金は、その目的でないと使えない基金で非常に積みにくい。日野町の場合は、財政調整基金を積んで、将来の公共インフラの整備の費用に一般会計から繰り出し、町民の安心安全を守っていく考えです。決して町民の皆さんにご迷

惑をかけることはないと思っております。

副町長 日野町の財政規模としては、小分けして基金を設けるより財政調整基金として積立において適時必要な形で運用していきたい。



日野中央浄化センター

# 総合戦略の進捗状況は

## 答着実に推進



中原 明議員

議員 日野町総合戦略会議が開催されましたが、その経過と進捗はどうですか。

議員 骨子を説明し、10月中には取りまとめ国、県に報告の予定です。

議員 取り組みが遅いのではないかと、全国の21自治体は4月に策定、認定されている。他町では3月から対応していますが。

町長 県下でも進んでいる方だと、自負しています。

議員 合計特殊出生率は2008年、13年は何%ですか、5年後はどうですか。

企画政策課長 8年は1・17%、13年1・79%、25年1・54%、30年1・72%、40年2・72%の見込みです。

議員 8年から13年の平均値を基準とした数値では、人口が同一ならともかく、

生産年齢は40年には60%減になるのに幻想的な数値で

今年度は、各地区に出向き、連合区単位で自治会長

の御意見を伺う予定です。

決定のプロセスは、教育委員会

会で方向性を示し、総合教育会議で議論した上で町

長が決定いたします。

議員 学校統合において教育論と地域論をどのように

考えていますか。

教育長 学校がなくなれば地域が疲弊すると必ず問題

になるところであります。

第一は、子供たちにとつ



地方創生会議の開催

はないでしょうか。

町長 子育て環境や教育の充実を図り、町外から若者

や子育て世代の移住を促進して、出生数の増加を図ります。

議員 自然体験をする教育旅行に取組まれますか。

町長 都会の子供達との交流による地域の活性化に繋がりますが、事故等の安心

安全の確保、民宿の受入能力等、周辺町村と連携による広域的に検討してみます

議員 猪が町内で約150頭捕獲され、解体処理施設の新規整備、処理技術者の育成を検討され、ジビエ特産品として、普及振興を図ってみませんか。

町長 食品衛生法の制約があり、販路や採算性があり単町での実施は困難です。

# 教育論と地域論は

## 答地域論も大事



安達 幸博議員



地域おこしのイベントに集うご家族

議員 小学校統合について、「する・しない」を決定するプロセスを伺います。

教育長 当面の間、統合しないとしています。

平成32年には、根雨小学校が全校で54名、黒坂小学校は22名まで減少するので、

統合について、平成25年度には保護者会役員や小・中

P・T・A役員との意見交換会。

平成26年には保育所保護者や各小・中学校P・T・Aとの

意見交換を行いました。

今年度は、各地区に出向き、連合区単位で自治会長の御意見を伺う予定です。

決定のプロセスは、教育委員会

会で方向性を示し、総合教育会議で議論した上で町長が決定いたします。

議員 学校統合において教育論と地域論をどのように

考えていますか。

教育長 学校がなくなれば地域が疲弊すると必ず問題

になるところであります。

第一は、子供たちにとつ

て何が大事かを考えるべきであり、教育論と地域論は切り離して考えるべきであると考えます。

町長 本町のような小さな自治体は、町長の地域論も述べながら学校教育のあり方を議論していく総合教育

会議が重要な会議とと思っています。

議員 町長は「児童が、あと10人増えれば」と自治会

長会議で発言された。その施策を伺います。

町長 子育て環境や教育の充実を図るとともに、町外

からの若者や子育て世代の移住を促進して、町外から

子供たちの転入をふやしたり、出生数の増加につながる

ような取り組みを検討していきます。



先人の歴史を学ぶ「たたら製鉄」の再現

# サンプラザ跡の有効活用は

## ◎議会としての考えを聞きたい



竹永 明文議員

議会や町民の皆さんからの声が高まりまして、行政支援が必要な状況となりましたら、再検討はしてみたいと考えているところです。

たいと思いますが、そういう場ができたなら、執行部と膝を交えて十二分に話をしていただけということでしょうか。

議員 今現在で800万円の固定資産税滞納であり、このまま放置しておきますと、年間130万円づつ滞納がふえます。当然最終的には町が空き家対策特別措置法のもと、莫大な費用をかけて処理しなければいけない状況の中で、再度議会に提案すべきであると思うのですがどうですか。

町長 私もそれに依存はございません。きちんとした今現在で示しできる資料を持ち、臨みたいと思っております。

議員 昨年9月議会定例会で、予算否決後の対応と今後について、町長はどのようにお考えですか。

町長 サンプラザ跡地は国道沿い、町の中心地でもあり、地域の活性化に活用すべく取得を試みました。債権者である鳥取県に依頼し、裁判所の特別売却手続きをお願いし、期限延長していただき、昨年9月町議会に提案したところです。

私といたしましては、町

議員 議長にそういう会を持っていただくよう提案し

町長 再度提案をするからには、議員の皆さん方がどういうお考えを持っているか聞かせてもらいたい。

## 責任おしつけの改正

議員 今回の国保法の大改正は、国の責任を県に押し付け、医療費の目標を決めて、医療費適正化という削減、病床削減させる地域医療構想、定額負担や、患者申し出療養制度など保険料の負担にとどまらず、病院経営も脅かしかねないが、

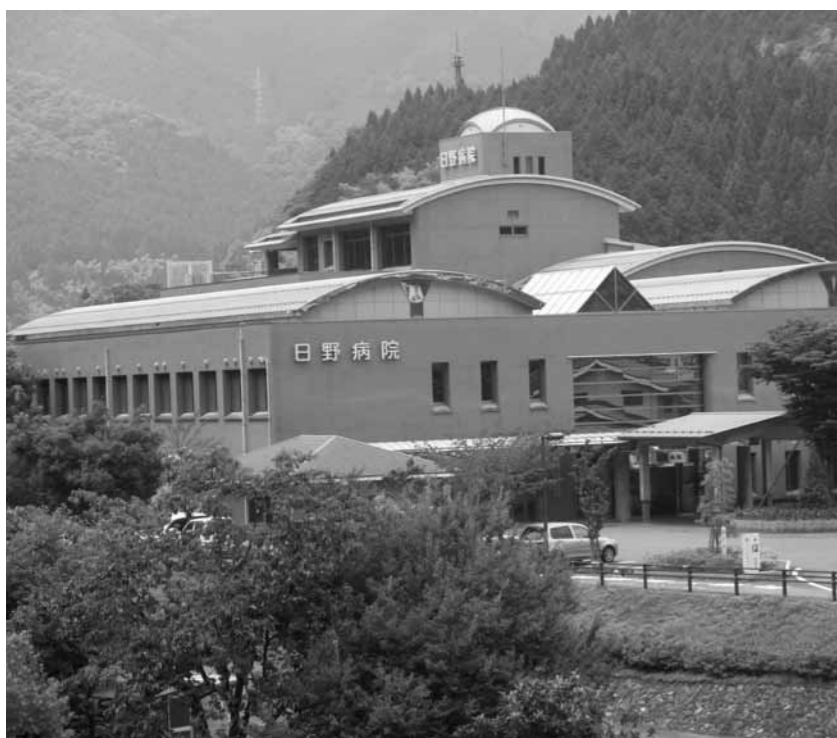
町長 県が町村の標準額を示し、個別に決めることになる。計画や構想は県が決めることになる。保険料が毎年大きく変動しないのが望ましい。運営基金は、県の基金の三分の一は市長村で負担。また、激変緩和などに使いたい。

# 国保の財政運営を県が持つことは

## ◎制度改革に懸念を持つ



佐々木 求議員



地域生活の安全・安心を担っている日野病院

議員 「空き家対策特別措置法」が全面施行されました。

立ち入り調査や、強制執行などが出来る様になりました。対応して法に基づく、条例が必要ではないですか。問題は財源をどうするかです。

町長 有効活用には、町外からネットによる検索ができるように整備できませんか。

ら空き家などの管理を十分に行うことが出来ない場合も考えられる。調査し、リストとマップを作成し、有効活用を図りたい。

町長 空き家調査員により掘り起し、登録件数の促進と、ホームページで検索できるようにしたい。



道路に設置してある危険回避看板



現在、空き店舗となっている旧ショッピングセンター・サンプラザ

# 「リバーサイドひの」の有効活用は

## 答積極的な利用促進に取り組みます



松尾 信孝議員

議員 日野町に今ある資源を生かして町づくりに活用するとう見地から「リバーサイドひの」について伺います。

指定管理者から毎年提出

される事業報告によると、リバーサイドは毎年赤字が続いています。売り上げ増、つまり集客増についてどのような方策が取られていますか。

町長 集客・営業活動については契約上は指定管理者の業務分担であるが、不十分な部分については指導をしていきたい。

### もって町民利用のPRを

議員 町民の利用がそもそもの設立目的であり、交流を通じて健康・福祉の増進につながり、結果的には収益となる。町民に対するPRが足りないように思いますが。

町長 町民の利用促進につ



全面禁煙となった館内

いては、近年は役場として積極的取り組みでこなったことは認めます。町のホームページや広報などを活用してPRに努めたい。

議員 公共施設という点から受動喫煙防止対策が必要と考えます。

町長 分煙等の対策は至急に対応します。

議員 そもそも町は指定管理者に運営をまかせきりに

してはいないか。法律では、施設の管理については設置者たる町が最終的な責任を持つことになっている。

町長 指摘の通り指定管理者にまかせきりになっていない部分があることは否定できない。多額の公費がつき込まれている施設でもあり、今後は管理責任者としての管理体制をとっていきます。

# 議会広報常任委員会

委員長 佐々木 求 副委員長 松尾信孝



金川守仁 中原信男 佐々木求 松尾信孝 山形克彦 松本利秋

## 議会広報常任委員会

委員長 佐々木 求

広報では、「読みやすい紙面づくり」を第一に考えて発行してまいります。限られた紙面の中で、できるだけ記事に関連した写真を活用していくことにし、3月・6月・9月・12月の各定例会後、1ヶ月以内の発行を目指し頑張りたいと思います。

広報全体ではかなりの写真の枚数も必要です。委員が、デジカメなどで写真を撮る際にはご協力いただきますように、よろしくお願いたします。

みなさんが、議会だよりを読まれた感想も、お寄せいただけますように重ねてお願いいたします。

委員の研修も重ねて、紙面づくりに生かしていきたいと考えています。



出かける議会 中菅自治会座談会

## あなたの自治会にも出かけます

議会・広報常任委員会

議会構成も新しくなりました。常任委員会は「広報」の編集を中心に行います。「出かける議会」の取り組みを進める一つとしてこれまでも、幾つかの自治会に出かけ成果をあげています。

この広聴活動は、住民との意見交換や、問題解決のため、その場で回答のできないものは、持ち帰り、後日に回答するなどしています。現地に出かけ調査も行っています。

会議には日程・時間を調整したうえで、議員全員が参加していきます。議会事務局を通じてお申し込みください。多くのお申し込みをお待ちしています。

議会事務局

72-0335

# 特集 行動

がんばっている人・団体を、  
シリーズで紹介します。

## ～地域と共に育てる 未来の医療者～

### 日野病院

昨年6月、日野病院内に鳥取大学総合教育研修センターが開設されました。これは、医学生が同センターを拠点に、鳥取大学では体験出来ない、診たり、触れたり、感じながら学ぶ、こ



鳥取大学地域医療総合教育センターの様子

の地ならではの研修を行うものです。また、当院は卒後初期臨床研修プログラムの研修施設に指定されており、年間約五名の卒後初期の研修医（医師免許を取得して1～2年目の医師）を受け入れています。当院のプログラムは都市部の病院では研修できない「地域医療」という分野を1人1ヶ月間研修します。日野病院は医療者を目指す学生等の実習を行ううえで、非常に恵まれた環境に立地



病院で実習を受ける看護学生



訪問診療に同行する医学生

しています。医師以外の職種でも、米子北高校専攻科の看護学生を年間約10人（1人3～5週間）、リハビリ専門学校（1人の学生を年間約3人（1人約2ヶ月間）、そのほかにも医学生、看護学生のセミナーや中高生の職場体験も積極的に受け入れています。さらに来年からは今春開校した鳥取看護大学の学生実習も受け入れる予定です。昨今、医療者不足による地域医療の崩壊が懸念されていますが、このような若者を温かく迎え入れ、地域と一体になって育てていく

ことは、今後この地での医療を保持していくうえで非常に重要なこととなります。町民の皆さんもご理解とご協力をお願いいたします。なお、当院で研修する鳥取大学の医学生や卒後初期臨床研修医は、研修の最終日に成果発表を行い、日野病院やこの地域で研修を受け、学んだこと、感じたことを発表します。町民の皆さんにもぜひ聞いていただきたいとお誘い合わせてお出かけ下さい。（成果発表会の日程等については、その都度日野町の防災無線でご連絡します）

日野病院事務局 筆

## あとがき

6月定例議会は、新しい議員3人も加わる中で、期間を通して傍聴者も多く感謝に絶えないところですが、それぞれの議員が、新鮮な気持ちで町民の期待にこたえていく想いは同じです。議会広報の担当も大きく変わりました。6人中4人が変わりました。それぞれに、パソコンを持ち込みながらの奮闘になりました。苦手な人も得意な人もありますが、町民にわかりやすく伝えるために頑張る想いは同じです。広報は、委員会の思いだけでなくでもできません。議員全員の協力があつてこそ、町民に想いを伝えていけると思います。その協力と、みなさんの声を作り上げるものだということを強く感じています。期待に応えるために頑張るといのが委員会全員の思いです。ご意見をお寄せください。 佐々木求筆

議会広報常任委員会

委員長 佐々木 求  
副委員長 松尾 信孝  
松本 利秋  
中原 信男  
金川 守仁  
山形 克彦